



住友金属工業(株)東京本社災害対策本部と受信装置・受信ユニットS740(写真下段)

住友金属工業株式会社東京本社様の 災害対策訓練実施！

住友金属工業株式会社東京本社様は、本年3月に導入した緊急地震速報システムを用いた災害対策訓練を実施しました。

災害対策訓練は、訓練の時刻・内容を一切告知せずに行われ、災害対策マニュアル規程の各種行動の演習訓練などに、災害対策本部の指揮下、東京本社で勤務する役員及び従業員(約600名)が参加しました。10月1日13時10分に首都圏を震源とする震度6弱の大地震が発生したという想定で、緊急地震速報システムを用いた館内一斉自動放送に基づき訓練が開始されました。

主な訓練内容としては、安全確保行動(「机の下にもぐれ!」等)、従業員の安否確認訓練、救命緊急訓練、負傷者の救出訓練、全員避難訓練等を実施し、大きな成果を上げました。

明星電気の洗練した技術が、大企業で働く人達の生命を守っております。

(当社営業担当: 第二営業部 大野 志保美)



航空科学博物館外観と視程計・移動式気象観測装置(下段)

9月20日「空の日」のイベントに当社が協力しました！

明星電気は、千葉県成田国際空港近くにある、航空科学博物館(山武郡芝山町)で、気象庁成田空港地方気象台様などが主催する「空の日」(空の旬間)のイベントに、視程計と移動式気象観測装置を出展しました。

「空の日」は戦後、民間航空の再開を記念して制定された日で、全国各地の空港などで記念のイベントが開催されました。そのうち、9月20日から22日に航空科学博物館で行われた行事では、航空の安全運行には欠かせない「空港の気象観測」をテーマに、成田空港地方気象台様が展示を実施されました。

全国各地の空港で使われている「RVR(Runway Visual Range)」と呼ばれる、航空機から滑走路の誘導灯などの見通せる距離(視程)を計る装置のほか、気象観測装置の例として必要な地点に持ち込みその場で組み立てできる気象計を、明星電気は展示用として提供しました。

(当社イベント担当: 営業支援グループ)



新幹線に採用された当社地震計

10月14日「鉄道の日」に日本鉄道賞を受賞！

「揺れる前に 列車を止める！」に明星の技術が貢献！

10月14日(水)に国土交通省より、日本鉄道賞の表彰式がありました。そこで財団法人 鉄道総合技術研究所様の「揺れる前に 列車を止める！」が、日本鉄道賞表彰選考委員会特別賞を受賞しました。

これは新幹線地震防災システムおよび鉄道用緊急地震速報受信システムが表彰の対象となっていますが、これらのシステムの一部に当社の製品が採用されています。ここでも明星電気の地震計測技術が、新幹線地震防災システムおよび鉄道用緊急地震速報受信システムとして、鉄道の安全輸送に役に立っています。

(当社営業担当: 第二営業部 澤村 明彦)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。